

# 119番通報のポイント

## <高齢者等関係施設からの救急要請>

### 119番通報の流れをイメージしましょう

松山市からの119番通報は、本町六丁目6-1にある消防局通信指令課につながります。通信指令課につながると指令員が次のような流れで問いかけますので、落ち着いて答えていきましょう。

 指令員	通報者 
119番松山消防です。 火事ですか？救急ですか？	救急です。
救急車を向かわせる住所を教えてください。	松山市〇〇町1丁目1番1号 ●●施設 △△です。
救急車が必要な方の年齢、性別を教えてください。	●●歳男性です。
その方がどうしましたか。	部屋で転倒して頭部から少し出血しています。
反応や呼吸はありますか？	反応はあります。 呼吸もしています。
<b>※救急車へ出動指令！！</b>	
<b><u>通報の途中でも住所と主な状況等が確認できた段階で救急車を 出動させていますので、安心して通報を続けてください。</u></b>	
応急処置（止血）は試みていますか。	はい。ガーゼで押さえています。
通報いただいているあなたのお名前を教えてください。	私は施設看護師の〇〇です。
今お使いの電話番号を教えてください。	私の携帯電話で 090-●●●●-●●●●です。

この他にも質問されることもあります。あなたが答えた内容は、出動している救急車に無線で情報提供され、現場に到着するまでに必要な資器材等を準備したりするのに役立ちます。

# 救急要請の3つのポイント

～お伝えしておきたいこと～



## ①正しい住所＋施設名で場所を伝えましょう！

類似した名前の施設もありますので、住所は正しい住所・施設名をお伝えください。

確実に迅速な119番通報をするためには、あらかじめ施設の住所を正確に伝えられるように準備しておきましょう。

また、慌てずに性別・年齢・状況を把握し、あわせて伝えていただくと重症度を判断する上で役立ちます。

★『119番通報メモ』をご活用ください。

## ②口頭指導にご協力ください。

反応がない、呼吸をしていない、喉に物が詰まった、出血が多いなど応急手当が必要な場合、119番通報中の電話で応急手当をお願いすることがありますので、可能な限りご協力ください。（これを口頭指導といいます。）

反応や呼吸の確認は特に重要で、状況によっては、複数の職員に協力を求め、AEDの準備や心肺蘇生法実施の口頭指導を行います。

## ③電話のスピーカー機能の活用が有効です。

通報時に、必要に応じて電話をスピーカー機能に切り替えてもらうこともあります。スピーカー機能を活用すれば、傷病者の呼吸状態や状況の把握に役立ち、傷病者のそばで口頭指導を聞きながら、応急手当が実施できます。

『確実に迅速な早期の通報や応急手当が利用者の救命や予後改善に繋がります。』

# 119番通報メモ ～いざという時のために～

～通報はあわてず、落ち着いて、正確に～

1 火事ですか？ 救急ですか？

『救急です』



2 住所を教えてください。

【住所】

松山市

【施設名称】

3 年齢・性別・状況は。

【 】歳の（【 】歳ぐらいの）（男・女）性です。  
『どのような』（反応・呼吸・状況）状態です。

4 施設の電話番号

※**施設の人員・時間に余裕があれば**以下の物等を準備すると救急隊や病院へのスムーズな引継ぎに役立つことがあります。

- バイタル測定メモ（脈・血圧・血中酸素濃度・体温）
- 状態変化の時系列メモ
- 保険証 ●病歴・薬・家族情報 etc…